

環境に係る情報協議会

国営農地再編整備事業 今金地区

1. 事業の概要（案）

【事業の目的】

本地区の農地は、ほ場が小区画で排水不良等が生じているとともに経営農地が分散している。そのため、生産性が低く農業経営は不安定なものとなっている。

このことから本事業では、区画整理3,531haを施行し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農業経営の合理化と効率的な土地利用を図り、農業経営の振興を基幹とした本地域の活性化に資することを目的としている。

【主要工事の概要】

区画整理 A=3,531ha

2. 地域の環境に対する考え方

【現状】

通算11回の清流日本一に選ばれた後志利別川や、総面積の8割を占める森林、美しい稜線を見せる狩場山及びメップ岳など豊かな自然に恵まれている。また、後志利別川水系の河川流域に沿って点在する集落や広大な丘陵地の酪農地帯なども印象的な風景となっている。

（今金町田園環境整備マスタープランより）

地域には、道南の最高峰狩場山をはじめ、カスベ岳、メップ岳が連なり、その山々にはさまれて後志利別川が流れている。平坦部は米のほか畑作物の好適地であり、丘陵部は畑作・畜産が営まれている。また、後志利別川を軸とした沿線まちづくり及び地域連携・地域振興・河川維持管理など地域と一体となった川づくり・まちづくりが進められている。

（せたな町北檜山区田園環境整備マスタープランより）

【課題】

地区の地形は険しい山々が多く大規模な土砂の崩壊が多々ある。積雪が多く融雪時、異常降雨時における土砂の流失等が見られる地域である。

（今金町田園環境整備マスタープランより）

せたな町北檜山区を流れる後志利別川は、全国一の清流河川として高く評価されていることから、流域環境保全のため、清冽な流水と自然環境の維持、保持を図ることが必要な地域である。

（せたな町北檜山区田園環境整備マスタープランより）

【環境保全の基本的な考え方】

地域を流れる後志利別川水系を、恵みと豊かな母なる川として流域の歴史と文化を生み、地域の生活基盤を支えているという基本理念に基づき、親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修を目指す。

（今金町田園環境整備マスタープランより）

地域を流れる後志利別川は清流日本一に選ばれた河川であり、地域住民による河川環境や豊かな水質資源を守る活動が行われている。このことから親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修を目指す。

（せたな町北檜山区田園環境整備マスタープランより）

3. 事業における環境との調和への配慮方針

【基本方針】

本地区は、「清流日本一」に選ばれた後志利別川や排水路周辺に、多くの動植物が生息・生育している。また、後志利別川とその河畔林や水田とが、緑豊かな農村景観を形成している。このことから、事業実施にあたっては、生息・生育環境や農村景観に配慮する。

【取組内容】

① 緑地環境の保全

工事中における下流河川の魚類生息環境に配慮し、濁水流出防止に努める。

② 水辺環境の保全

防風林の整備にあたり、田園景観や動植物の生息・生育環境に配慮する。

③ 水質の保全

排水路の整備にあたり、水生生物、魚類等の生息環境に配慮する。